

## 博物館概論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 次の文章は、博物館の事業について定めた博物館法第3条第1項の各号を引用したものである(設問の都合上、条文の一部に改変を加えている)。これを読み、①～⑩の( )内に□の中から最も適切な語句を選んで文書を完成させなさい(同じ番号には同じ語句が入る)。(各2点)

- 一 ( ① )、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
- 三 博物館資料に係る ( ② ) 記録を作成し、公開すること。
- 四 一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、( ③ ) 室等を設置してこれを利用させること。
- 五 博物館資料に関する専門的、( ④ ) 的な ( ⑤ ) を行うこと。
- 六 博物館資料の保管及び展示等に関する ( ④ ) 的研究を行うこと。
- 七 博物館資料に関する案内書、解説書、( ⑥ )、図録、年報、( ⑤ ) の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- 八 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を ( ⑦ ) すること。
- 九 当該博物館の所在地又はその周辺にある ( ⑧ ) 保護法(昭和二十五年法律第二百四十四号)の適用を受ける ( ⑧ ) について、解説書又は ( ⑥ ) を作成する等一般公衆の当該 ( ⑧ ) の利用の便を図ること。
- 十 ( ⑨ ) における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
- 十一 学芸員その他の博物館の事業に従事する人材の養成及び ( ⑩ ) を行うこと。
- 十二 学校、( ③ ) 館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を ( ⑦ ) すること。

一次資料、実物、電磁的、デジタル、図書、休憩、技術、実践、  
調査研究、教育普及、資料集、目録、援助、推奨、  
文化資源、文化財、生涯学習、社会教育、派遣、研修

2. 次の文章は、我が国の博物館の始まりを説明したものである。①～⑩の（ ）内に□の中から最も適切な語句を選んで、文章を完成させなさい（同じ番号には同じ語句が入る）。（各2点）

（ ① ）年に、（ ② ）内の大成殿において（ ③ ）省博物館が開催した「博覧会」が、現在の東京国立博物館のはじまりである。その翌年に開催された（ ④ ）万博に日本政府が参加することになり、その出品物の収集は博覧会の展示物収集とあわせて実施された。博覧会の呼び物となった（ ⑤ ）城天守閣の（ ⑥ ）は、（ ④ ）万博にも展示された。この万博では、機械産業の産品ではなく、（ ⑦ ）、織物、陶磁器など繊細な細工の（ ⑧ ）を前面に打ち出し、高い評価を得た。その後、日本政府は（ ⑧ ）の生産・（ ⑨ ）を積極的に進める（ ⑩ ）をはかった。

1871（明治4）、1872（明治5）、1873（明治6）、パリ、シカゴ、大阪、姫路、名古屋、江戸、愛知、上野公園、集古館、湯島聖堂、ウィーン、ロンドン、物産会、海外生産、殖産興業、博物館構想、大蔵、文部、郵政、文部科学、厚生、模型、工芸品、金鯨、輸入、展示、輸出、瓦、薬、漆器

3. 下の表は、設置者別にみた我が国の博物館における、年間の収入総額に占める各収入の割合を示したものである。以下の（1）と（2）に答えなさい。（合計20点）

- （1）表にある4つの収入源（入館料・ショップ売上・施設の賃貸料・外部資金）の割合を合計しても、100%にならない理由を40字以内で説明しなさい。
- （2）設置者が「国」及び「都道府県・指定都市」の博物館における財源構造の課題を160字以内で論じなさい。

表 総収入と各収入の割合（有効な回答のあった館、全体／設置者別）（%）

	N =	入館料収入／年間収入総額の比率	ショップ売上／年間収入総額の比率	施設の賃貸料／年間収入総額の比率	外部資金／年間収入総額の比率	
全体	1,506	21.5	9.1	3.4	6.9	
設置者	国	35	14.7	0.5	3.2	4.4
	都道府県・指定都市	254	13.5	3.2	4.2	5.1
	市・区	703	20.8	12.5	1.5	2.5
	町・村	208	30.8	7.5	1.7	1.2
	公益法人・一般法人等	248	33	12.6	5.8	21.6
	会社・個人等	58	47.2	35.7	2.1	7.9

4. 日本の博物館職員について、常勤職員3人、非常勤職員1人で運営しているのが典型的な姿であり、博物館の活動基盤としては必ずしも十分とはいえない現状にある。以上を踏まえ、学芸員（博物館の専門職員）の職務内容に関し、日本と欧米の事情を比較しながら、日本の博物館職員の課題を200字以内で説明しなさい。（20点）

5. 2022年に改正された博物館法第3条では、博物館が地域の多様な主体との連携・協力による文化観光その他の活動を図り、地域の活力の向上に取り組むことを努力義務とした。博物館に観光客が直接来館する以外に、博物館が文化観光に貢献している事例や貢献できる可能性を200字以内で具体的に説明しなさい。（20点）